

新規学校卒業者の採用に関する要請

貴団体におかれましては、日頃より県内雇用施策の円滑な推進に格別のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、我が国の雇用失業情勢は、急速な景気の落ち込みによる雇用の大幅な調整がみられ、有効求人倍率が過去最低水準となるなど、厳しさを増している状況にあります。

このような状況のもと、本年六月二十日から、各公共職業安定所で来春の新規高等学校卒業予定者を対象とした求人受付が始まったところでありますが、埼玉県内における七月十七日現在の受理件数は、前年同期に比べ五十二・一％の減少と、就職氷河期を上回るかつてないほどの大変厳しい状況にあります。埼玉県、埼玉県教育委員会、埼玉労働局及びハローワークでは、一人でも多くの新規学校卒業者の就職が実現するよう最大限の努力をしているところですが、求人数の絶対的不足の解消には至っておりません。

来春学校を卒業する生徒たちは、社会の一員としての第一歩を踏み出そうと、希望に燃え、懸命に就職活動を行っております。

仮に就職未決定のまま卒業を迎えたとすれば、人生の大きな門出とな

るはずのこの大事な時期に、本人に与える精神的衝撃は想像を絶するものがありますとともに、その後の職業人生にも深刻な影響を与えてしまっています。

また、我が国社会全体にとりましても、産業や社会を支える人材の育成が図られないなど、大きな損失であって、深刻な問題であります。

私どもといたしましては、いわゆる「失われた十年」による惨状を二度と繰り返してはならないと固く自戒しているところです。

先行き不透明な経済情勢の中、新規学校卒業者の採用に慎重にならざるを得ない状況は拝察されるところでございますが、少子・高齢化の更なる進行等を踏まえた中長期的な視野に立った計画的な人材の確保は、企業にとって大変重要なことと考えております。

つきましては、平成二十二年三月新規学校卒業者の求人確保と採用について、一層のご協力をいただきたいと存じます。

貴団体におかれましては、これらの趣旨に深いご理解を賜り、傘下団体及び事業主の皆さまにこの趣旨を徹底していただきたく、ご協力をお願い申し上げます。

平成二十一年八月三日

埼玉県知事 上田清司

埼玉県労働局長 苧谷秀信

埼玉県教育委員会教育長 島村和男

埼玉産業人クラブ

会長 住田正利様